

	第1会場 (グランドホール 橋 1/2)	第2会場 (グランドホール 橋 1/2)
7:00		
8:00		
9:00	8:55~9:00開会挨拶 9:00~11:30 (150) <b>Oral Session 1~3</b>	9:00~11:30 <b>腎癌研究会第12回市民公開講座</b>
10:00		
11:00		
12:00	11:30~12:10 (40) <b>教育講演</b> 共催：ファイザー株式会社	
	12:10~12:30 (20) <b>会長講演</b>	
	12:30~12:40 (10) <b>総会</b>	
	休憩	
13:00	12:50~14:00 (70) <b>International Session I</b> 共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 小野薬品工業株式会社	
14:00	休憩	
	14:10~15:10 (60) <b>Video Symposium</b> 共催：中外製薬株式会社	
15:00		
	15:10~16:10 <b>Oral Session 4</b>	15:10~16:00 (50) <b>Poster Session 1~5</b>
16:00		
	16:15~17:15 (60) <b>Symposium</b> 「IO時代の腎癌治療の実臨床」	
17:00		
	17:20~18:30 (70) <b>International Session II</b> 共催：ノバルティス ファーマ株式会社	
18:00		
	18:30~18:35 閉会挨拶	
19:00		18:40~20:00 (80) <b>懇親会</b>
20:00		

## 第50回腎癌研究会 プログラム

## Oral Session1 「Translational Research」

9:00-9:54

座長：久米 春喜（東京大学 泌尿器科）

- O-1 腎細胞癌における血漿遊離DNAのVHL遺伝子変異の検討 山崎 俊成（京都大学 泌尿器科）
- O-2 淡明細胞型腎細胞癌に関連するmicroRNAの発現と臨床病理学的因子との関連 塩見 亶（岩手医科大学 泌尿器科）
- O-3 PBRM1タンパク欠損のある淡明細胞型腎細胞癌の免疫微小環境 三浦 裕司（虎の門病院 臨床腫瘍科）
- O-4 腕内逆位（paracentric inversion）によって融合するRBM10-TFE3腎細胞癌10例の病態解析 古屋 充子（横浜市立大学医学部 分子病理）
- O-5 次世代シーケンスを用いた免疫チェックポイント阻害剤によるirAE免疫応答機構の解明 加藤 大悟（大阪大学 泌尿器科）
- O-6 腫瘍に発現するPD-L2の免疫抑制機能について 種子島時祥（九州大学 泌尿器科）

## Oral Session2 「手術療法」

9:54-10:39

座長：徳田 倫章（佐賀県医療センター好生館 泌尿器科）

- O-7 根治手術が施行された非転移性淡明細胞型腎細胞癌症例における性差の予後的意義 -国際共同データベースでの検討- 福島 啓司（東京医科歯科大学 泌尿器科）
- O-8 下大静脈血栓を有する腎癌患者に対する術前分子標的治療薬投与の有用性に関する検討 寺川 智章（神戸大学 泌尿器科）
- O-9 ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術後早期造影CTの意義についての検証 池田 敬至（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-10 腎癌T1b症例に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の成績 梅津 大輔（九州大学 泌尿器科）
- O-11 ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術後に再発した3症例の検討 小林 泰之（岡山大学 泌尿器科）

## Oral Session3 「全身治療」

10:39-11:24

座長：釜井 隆男（獨協医科大学 泌尿器科）

- O-12 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ治療における最大腫瘍縮小率と予後の関係 石原 弘喜（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-13 ニボルマブの恩恵を評価することは時期尚早？ 玉田 聡（大阪市立大学 泌尿器科）
- O-14 東京大学における転移性腎細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の初期経験 佐藤 悠佑（東京大学 泌尿器科）
- O-15 当院における転移性腎細胞癌に対するNivolumabの治療成績 城代 貴仁（藤田医科大学 泌尿器科）
- O-16 転移性腎細胞癌に対するニボルマブの治療効果予測因子の検討 城武 卓（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器科）

## 教育講演

11:30-12:10

座長：江藤 正俊（九州大学 泌尿器科）

共催：ファイザー株式会社

- E-1 発癌機構解明に基づいたRCCに対する治療薬開発 中村英二郎（京都大学医学研究科 メディカルイノベーションセンター）

## International Session I

12:50-14:00

座長：富田 善彦（新潟大学 泌尿器科）

共催：プリストル・マイヤーズ スタイブ株式会社、小野薬品工業株式会社

## I-1 Immuno-Oncology Combinations as the New Standard of Care in Metastatic Renal Cell Carcinoma

Brian Rini（Professor of Medicine, Lerner College of Medicine Leader, GU Program Department of Hematology and Oncology, Cleveland Clinic Taussig Cancer Institute）

Discussants：蓮見 壽史（横浜市立大学 泌尿器科）、元島 崇信（熊本大学 泌尿器科）

## Video Symposium 「ロボット腎部切における手技の工夫」

14:10-15:10

座長：江藤 正俊（九州大学 泌尿器科）、近藤 恒徳（東京女子医科大学 泌尿器科）

- V-1 腎門部腫瘍に対する腫瘍切離および切除面、実質縫合の工夫 山崎 健史（大阪市立大学 泌尿器科）
- V-2 ソフト凝固併用off-clampRAPN 吉田 哲也（滋賀医科大学 泌尿器科）
- V-3 ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術における腎動脈仮性動脈瘤発生予防の取り組み  
高木 敏男（東京女子医科大学 泌尿器科）
- V-4 腎部分切除シミュレーション 槇山 和秀（横浜市立大学 泌尿器科）
- V-5 RAPN（私の選択）カテナし、実質縫合なし、ドレーンなし  
川喜田睦司（神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科）

## Oral Session4 「症例」

15:10-15:06

座長：斎藤 誠一（琉球大学 泌尿器科）

- O-17 Nivolumab投与により奏效を示した転移性腎癌の一部検例 森田 順（昭和大学 泌尿器科）
- O-18 進行性腎癌に対してニボルマブ療法が奏功した1例 泉 恵一郎（琉球大学 泌尿器科）
- O-19 腎細胞癌の胸壁椎体転移に対しニボルマブ投与で縮小後に外科的完全切除しえた1例  
山崎 豪介（産業医科大学 泌尿器科）
- O-20 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法によりpseudoprogressionの後著效を示した進行性腎細胞癌の1例  
浅岡 美保（横浜市立大学 泌尿器科）
- O-21 ニボルマブにて副腎機能不全を発症するもステロイド投与で再投与が可能となった転移性腎癌の1例  
神原 太樹（岩国医療センター 泌尿器科）
- O-22 ニボルマブにて急性拒絶反応を認めた転移性腎癌を有する腎移植患者の1例 杉山 貴之（浜松医科大学 泌尿器科）
- O-23 有転移性腎細胞がんに対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法中に重篤な免疫関連有害事象を来した1例  
宮内 康行（香川大学 泌尿器科）

## Symposium 「IO時代の腎癌治療の実臨床」

16:15-17:09

座長：藤井 靖久（東京医科歯科大学 泌尿器科）、北野 滋久（国立がん研究センター中央病院 先端医療科）

- S-1 愛媛県多施設データ（DARC-MICAN）における進行性腎細胞癌に対するニボルマブの治療成績  
三浦 徳宣（愛媛大学 泌尿器科）
- S-2 神戸大学における進行性腎癌に対するニボルマブの臨床的検討 原田 健一（神戸大学 泌尿器科）
- S-3 Nivolumab monotherapy時代の進行性腎細胞癌治療成績 中井川 昇（横浜市立大学 泌尿器科）
- S-4 血液透析中の転移性腎癌患者に対するニボルマブ投与の有効性と安全性の検討 田中 建（筑波大学 泌尿器科）
- S-5 転移性腎癌におけるニボルマブの腫瘍縮小効果についての検討：C反応性蛋白（CRP）フレアレスポンスとの関連  
福田 翔平（東京医科歯科大学 泌尿器科）
- S-6 筑波大学附属病院における転移性腎細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の初期経験  
神島 周也（筑波大学 泌尿器科）

International Session II

17:20-18:30

座長：松山 豪泰（山口大学 泌尿器科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

I-2 RCC treatment State-of-the-art

Jürgen E. Gschwend (Director and Chairman Department of Urology Technical University of Munich)

Discussant：大澤 崇宏（北海道大学 泌尿器科）、安田 庸輔（東京医科歯科大学 泌尿器科）

Poster Session1 「手術療法 9題」

15:10-15:55

座長：斎藤 一隆（東京医科歯科大学 泌尿器科）

- P-1 高齢腎癌患者に対する根治的腎摘除術／腎部分切除術の臨床的検討 高橋 正幸（徳島大学 泌尿器科）
- P-2 糖尿病と尿蛋白陽性は術後腎機能低下の危険因子である：new baseline eGFRを用いた検討 横山 みなと（東京医科歯科大学 泌尿器科）
- P-3 腎癌外科的治療により発生しうる慢性腎臓病の予測ツールの検討 堀 祐太郎（日本大学医学部附属板橋病院 泌尿器科）
- P-4 RENAL Nephrometry Scoreを用いたロボット支援腎部分切除術における術後腎機能に影響を与える因子の検討 西川 涼馬（鳥取大学 泌尿器科）
- P-5 当院における小径腎腫瘍に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療経験 黒澤 誠（順天堂大学 泌尿器科）
- P-6 ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術における温阻血時間に関わる因子の検討 渡口 誠（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-7 ロボット支援腎部分切除術（RAPN）におけるpT3aの検討 小林 郁生（愛知医科大学 泌尿器科）
- P-8 下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の臨床的検討 大庭康司郎（長崎大学 泌尿器科）
- P-9 当院における腎細胞癌に対するリンパ節郭清の成績 鈴木 良輔（京都大学 泌尿器科）

Poster Session2 「薬物治療 9題」

15:10-15:55

座長：中井川 昇（横浜市立大学 泌尿器科）

- P-10 IMDC分類favorable-risk腎細胞癌患者における予後因子の検討 佐々 直人（名古屋大学 泌尿器科）
- P-11 腎癌におけるFGFR4の発現と治療標的としての可能性について 成澤 貴史（山形大学 泌尿器科）
- P-12 有転移腎癌症例に対する定期的頭部CT検査の有用性の検討 内藤 整（山形大学 泌尿器科）
- P-13 転移性腎細胞癌に対する分子標的薬治療のrelative dose intensityと効果の検討 橋本 浩平（札幌医科大学 泌尿器科）
- P-14 実臨床においてAxitinibは適切な用量調整により有効性を維持している 小林 幸太（神奈川県立がんセンター 泌尿器科）
- P-15 転移性腎細胞癌に対するfirst line axitinibの治療成績と効果不良因子の検討 沼倉 一幸（秋田大学 泌尿器科）
- P-16 進行性腎細胞癌に対するアキシチニブの治療成績 河村 一樹（防衛医科大学校 泌尿器科）
- P-17 Nivolumab治療後の分子標的薬治療の検討 佐塚 智和（千葉大学 泌尿器科）
- P-18 当院における進行腎がん透析症例の薬物療法 近藤 千紘（虎の門病院 臨床腫瘍科）

## Poster Session3 「ニボルマブ 9題」

15:10-15:55

座長：瀬島 健裕（松江市立病院 泌尿器科）

- P-19 転移性腎細胞癌に対するニボルマブの効果予測におけるCRPの意義 亭島 淳（広島大学 泌尿器科）
- P-20 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ治療における新規脳転移に関する検討  
石原 弘喜（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-21 ニボルマブにて治療された転移性腎細胞癌に対する慢性炎症関連因子と予後との関連  
山本 義明（山口大学 泌尿器科）
- P-22 転移性腎細胞癌における2nd line療法のNivolumabとTKIの比較検討 小泉 淳（秋田大学 泌尿器科）
- P-23 末期腎不全患者に対するニボルマブ使用における安全性と有効性についての検討  
橘 秀和（東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科）
- P-24 進行性腎細胞癌に対するニボルマブ投与で完全奏功を達成した症例の検討 水野 隆一（慶應義塾大学 泌尿器科）
- P-25 徳島大学病院における転移性腎癌に対するニボルマブ初期治療成績 尾崎 啓介（徳島大学 泌尿器科）
- P-26 京都府立医大における進行性腎癌に対するニボルマブの使用経験 鳴川 司（京都府立医科大学 泌尿器科）
- P-27 ニボルマブが奏功したSarcomatoid changeを伴う淡明腎細胞癌の1症例 菊地 央（北海道大学 泌尿器科）

## Poster Session4 「イピリムマブ、ニボルマブ併用療法および予後因子：9例」

15:10-15:55

座長：三浦 裕司（虎の門病院 臨床腫瘍科）

- P-28 進行性腎癌症例に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法の初期治療成績 加藤 廉平（岩手医科大学 泌尿器科）
- P-29 進行性腎細胞癌に対するニボルマブとイピリムマブ併用療法の初期経験 元島 崇信（熊本大学 泌尿器科）
- P-30 転移性腎細胞癌に対するNivolumab/Ipilimumab併用療法の初期経験 吉田 一彦（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-31 進行性腎細胞癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法の初期使用経験 西山 直隆（富山大学 泌尿器科）
- P-32 転移性腎癌に対するニボルマブ・イピリムマブの初期経験 宋本 尚俊（千葉県がんセンター 泌尿器科）
- P-33 NLRの低下は腎細胞癌に対する免疫治療のiPFS予測因子である 野口 剛（神奈川県立がんセンター 泌尿器科）
- P-34 非淡明腎細胞癌における免疫抑制関連分子の発現と予後との関連について 松本 洋明（山口大学 泌尿器科）
- P-35 Xp11転座型腎細胞癌と診断された7例の免疫染色によるPD-L1及びPD-L2の発現解析  
上園 英太（熊本大学 泌尿器科）
- P-36 遺伝性平滑筋腫症および腎細胞癌症候群関連腎細胞癌に対しニボルマブ・イピリムマブ併用療法が奏功した一例  
入部 康弘（横浜市立大学 泌尿器科）

## Poster Session5 「症例その他 7題」

15:10-15:45

座長：舩森 直哉（札幌医科大学 泌尿器科）

- P-37 当院における小径腎癌に対する凍結療法を検討 乾 将吾（京都府立医科大学 泌尿器科）
- P-38 透析患者における腎細胞癌の検討 巢山 貴仁（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）
- P-39 Xp11.2転座型腎細胞癌（Xp11.2-RCC）の臨床病理学的特徴 福田 洋典（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-40 コハク酸脱水素酵素B（SDHB）欠損型腎細胞癌の1例 林田 章宏（東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科）
- P-41 Hereditary Leiomyomatosis and Renal Cell Cancer（HLRCC）の一例 與那嶺智子（琉球大学 泌尿器科）
- P-42 当科で経験した転座型腎細胞癌2例の報告 仲西昌太郎（琉球大学 泌尿器科）
- P-43 進行腎癌に対して分子標的薬治療中に透析導入に至った4例  
堀内 俊秀（東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科）